

IoT時代のモヤモヤを自宅で解消

ダウンロード・データあります

メカニズム丸見え! ラズパイ AIサーバを作る

第15回 IoTデータ定期配信のプログラム [ご購入はこちら](#)

土屋 健

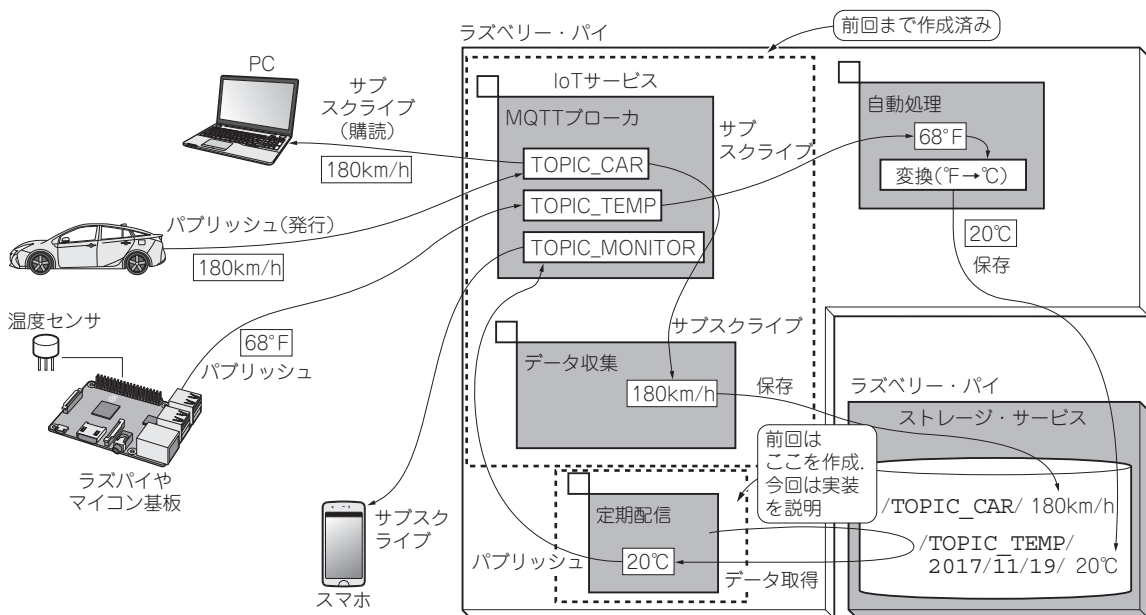


図1 今回やること…IoTデータ定期配信のプログラムについて解説する

IoTデータ定期配信機能(メッセージ・ディストリビュータ、前回作成)の実際のプログラミングについて解説します(図1)。

新たに追加した機能

前回作成したものに新しい機能を追加したので、まずその説明から始めます。定期配信機能の動作実験や実装方法、処理内容をプログラム・コードを見ながら細かく解説していきます。

● 機能1…指定時間以降に更新されたファイルのみを表示

指定された時間以降に更新があったファイルだけを、一覧結果として返すようにするオプションです。

ファイル一覧取得(GET http://<IP>:<port>/storage/)時にcurrent_timeオプションで日時を指定すると、指定日時以降に変更されたファイルが一覧に含まれます。なお、更新には新規追加されたファイルも含まれます。

▶ リクエスト形式

リクエスト形式は次のようになります。

```
http://<IP>:<port>/storage/?current_time=YYYYMMDDhhmmss
```

▶ 日時の指定形式

日時の指定形式は以下の通りです。

- YYYY: 年を西暦で指定します(例 2018)
- MM: 月を2桁の数字で指定します(例 08)
- DD: 日を2桁の数字で指定します(例 12)
- hh: 時間を2桁の数字で指定します(例 16)